

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

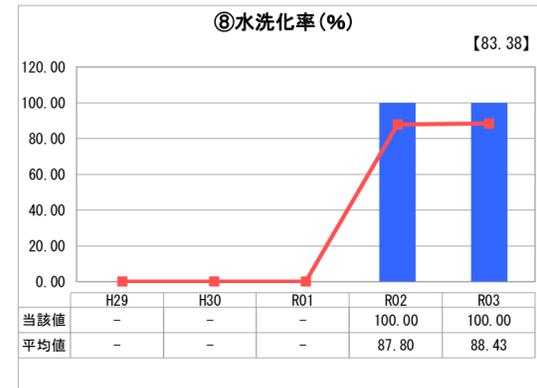
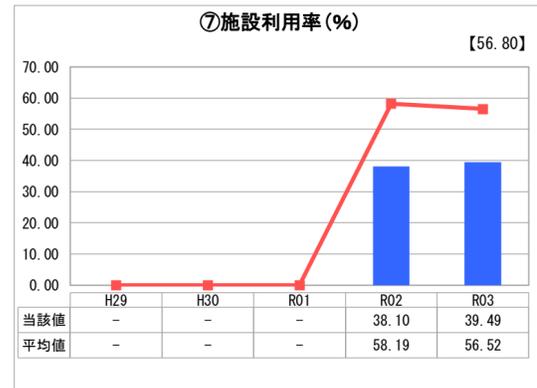
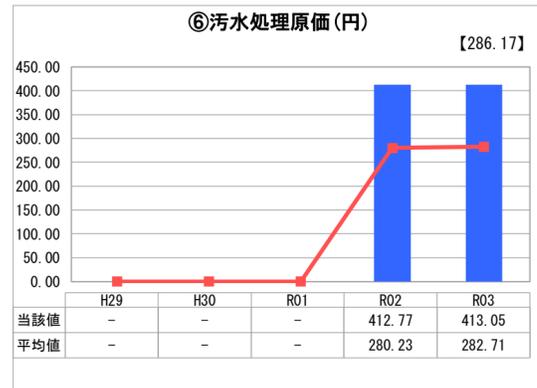
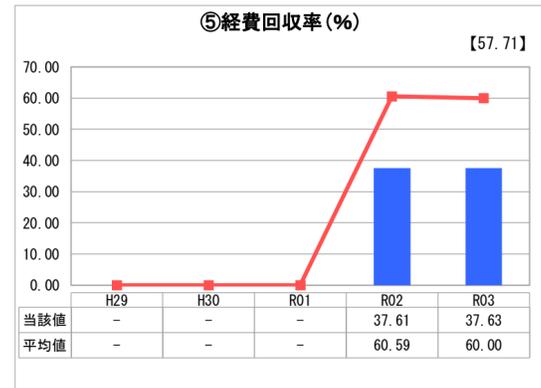
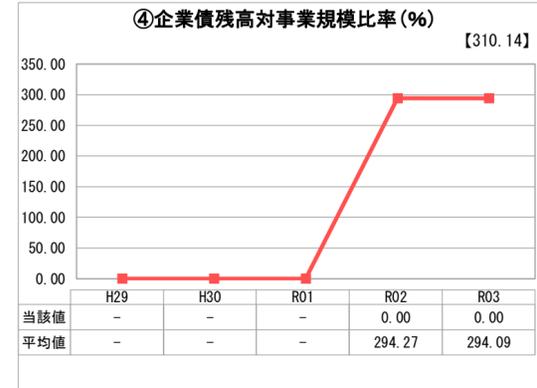
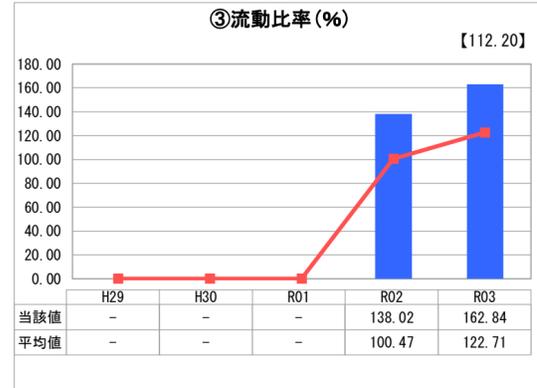
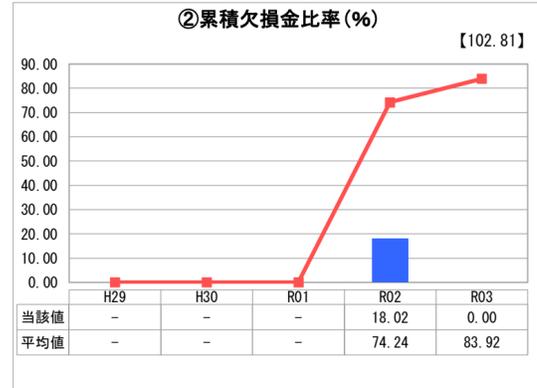
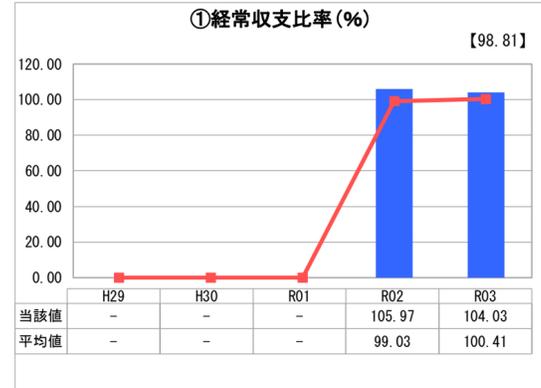
長崎県 西海市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	70.74	4.49	100.00	3,257

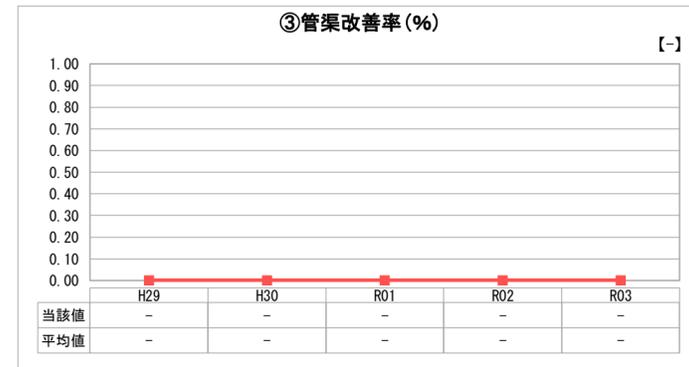
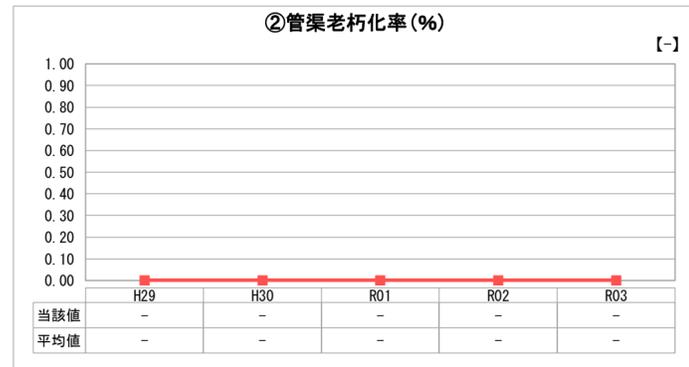
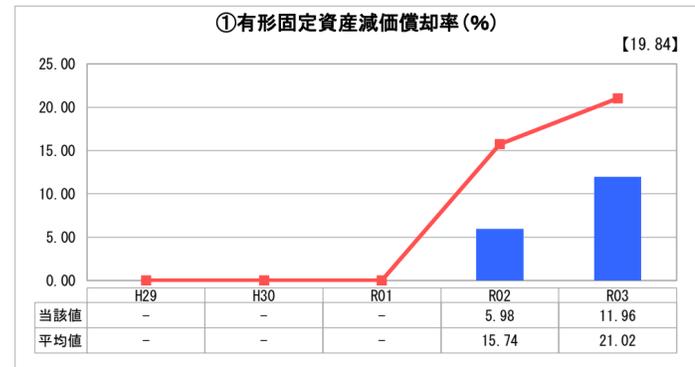
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
26,323	241.60	108.95
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,175	234.10	5.02

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率(104.03%)は前年度から減少したが、類似団体平均値よりも高い。単年度の収支は黒字になっています。  
 ② 累積欠損金比率(0%)は発生していません。  
 ③ 流動比率(162.84%)は前年度から大きく増加し、類似団体平均値よりもかなり高い。短期的な支払い能力については問題ありません。  
 ④ 企業債残高対事業規模比率(0%)は前年度と同程度で、類似団体平均値よりもかなり低い。合併処理浄化槽の処理能力以上の汚水の流入がないということであり、問題ありません。

### 2. 老朽化の状況について

本事業は令和2年度から法適用し、①有形固定資産減価償却率(11.96%)は類似団体平均値よりも低い。  
 現在、部品の交換修繕などの軽微な修繕は行っていますが、今後は経年劣化等による躯体の修繕など大規模な修繕が予想されます。  
 また、事業開始時に設置した合併処理浄化槽が一斉に更新時期を迎え、今後多額の更新費用が必要となります。

### 全体総括

本事業は平成24年度をもって新規の合併処理浄化槽設置を終了し維持管理のみを行っています。単年度の収支は黒字になっていますが、一般会計からの多額の繰入金を受けており、経営の健全性・効率性には課題があります。設備の老朽化に伴う維持管理費の増加や多額の更新費用が必要となることが見込まれるため、引き続き一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況にあります。引き続き維持管理費の削減や老朽化した浄化槽の更新費用の低減・平準化を図るとともに、下水道使用料の改定についても検討する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。